

2023年4月7日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ  
ワイエムコンサルティング 株式会社

## 地域のお客さまの脱炭素経営を支援する 「CO<sub>2</sub>削減ロードマップ策定支援」の開始について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 椋梨 敬介）の子会社であるワイエムコンサルティング（代表取締役 久保 哲秀）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「CO<sub>2</sub>削減ロードマップ策定支援」を開始することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

山口フィナンシャルグループでは、サステナブルローン商品やCO<sub>2</sub>排出量算定支援等の取り扱いを順次開始しており、今後も地域の持続可能性向上に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 背景

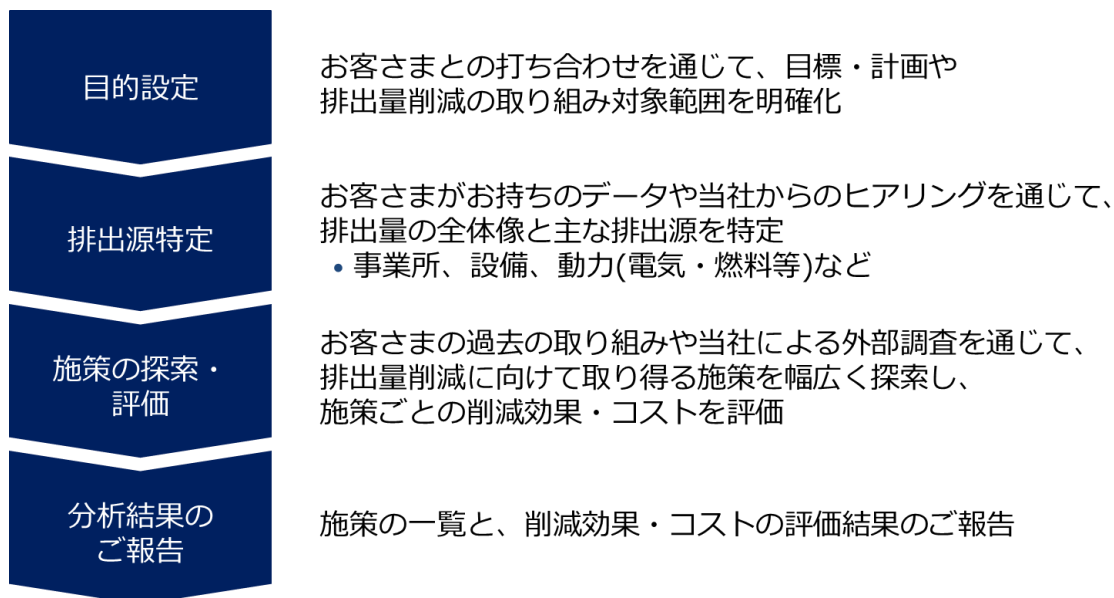
カーボンニュートラルに向けた取り組みは世界的な広がりを見せており、我が国においても政府の2030年度「温室効果ガス46%削減表明（2013年度比）」以降、企業のカーボンニュートラルへの取り組みが急速に進んでおります。この取り組みは、サプライチェーン全体に広がりつつあり、地域の中小企業においてもCO<sub>2</sub>削減に取り組むことの重要性が高まってきております。本サービスでは、カーボンニュートラルを目指すお客さまの中長期的な脱炭素経営に向けたご支援をすることで、お客さまの持続可能性の向上に寄与してまいります。

#### 2. サービス概要

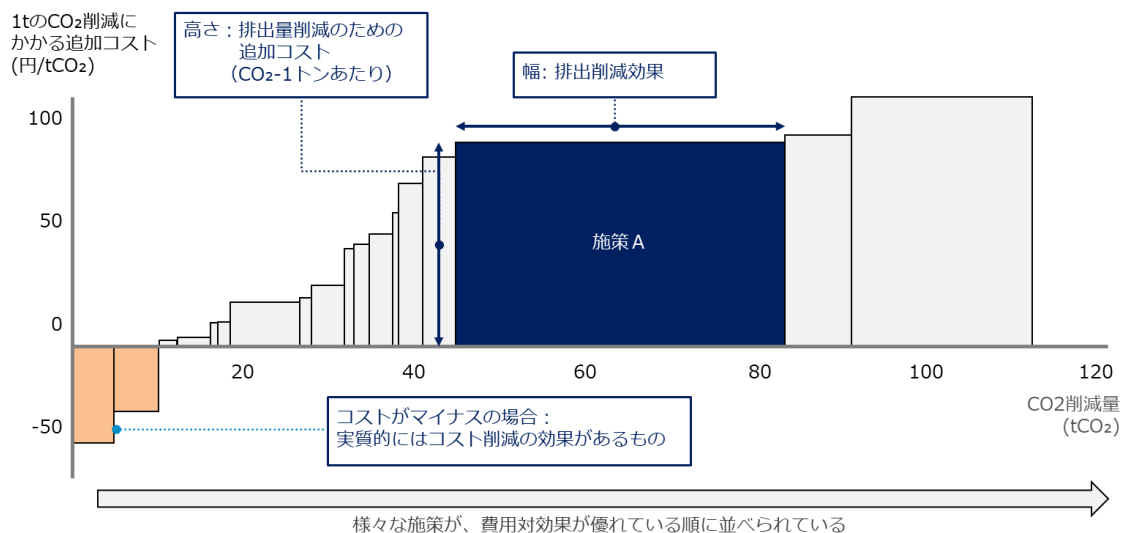
本サービスでは、お客さまに合わせた目標の設定、CO<sub>2</sub>削減に向けた施策の選択や投資の意思決定に寄与するロードマップの策定をご支援いたします。

お客さまがお持ちのデータやヒアリングを通じて特定した主な排出源に対して、削減に向けた実効性のある施策を幅広く探索し、施策ごとに評価を実施いたします。一覧化された施策を費用対効果の高い順番に可視化することで、施策の実施の順序や、一定の予算内で最も削減量が多くなる組み合わせを判断することが可能となります。

<サービスご提供の流れ>



<成果物のイメージ>



3. 導入事例

広島アルミニウム工業株式会社（広島県広島市西区 代表取締役社長 小松 理央、以下「広島アルミニウム工業」）さまに本サービスをトライアルとして導入していただきました。広島アルミニウム工業さまでは、環境方針を定めており、環境保護に向け、リサイクル・省資源・省エネルギーに積極的に取り組まれております。

4. 取扱開始日

2023年4月3日（月）

## 5. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「⑥大気汚染・気候変動への対応」の実現に資する取り組みです。

 <p>地域社会・ 経済活性化への 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人口減少・少子高齢化への対応</li> <li>②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート</li> <li>③地域コミュニティとの連携強化</li> <li>④商品・サービスの安全性と品質向上</li> </ul>	 <p>環境保全への 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤省資源・省/創エネルギーへの対応</li> <li><b>⑥大気汚染・気候変動への対応</b></li> <li>⑦環境に配慮した商品・サービス開発</li> </ul>
 <p>役職員全員の 働きがいへの 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧人材育成・研修機会の創出</li> <li>⑨安心・安全な労働環境作り</li> <li>⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&amp;インクルージョン)</li> </ul>	 <p>強固な 経営基盤づくり への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪ガバナンス体制・内部統制の強化</li> <li>⑫経営の透明性向上と説明責任</li> </ul>

以 上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ 営業戦略部 久田・和泉

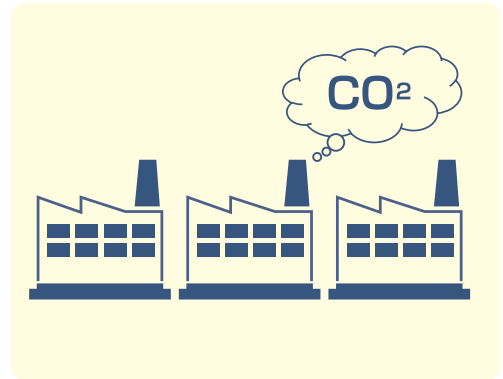
TEL：080-9461-9748

ワイエムコンサルティング 株式会社 佃

TEL：082-236-0011

# こんなお悩みありませんか？

- 取引先からCO<sub>2</sub>削減への取組を求められているが**どのように**取り組んだらよいかわからない。
- CO<sub>2</sub>排出量を削減するために、**どこから**手を付けるべきかわからない。
- CO<sub>2</sub>排出量が多い設備は分かっているが、削減するために**何をすれば**いいかわからない。
- CO<sub>2</sub>削減に向け、**いくらコスト**をかければよいかわからない。



ワイエムコンサルティングがおお客様のカーボンニュートラルに向けて**最適な意思決定のご支援をいたします。**

## CO<sub>2</sub>削減ロードマップ策定支援について

### 【支援内容】

#### 目的設定

目標 / 計画や排出量削減の取組対象範囲を明確化

#### 排出源の特定

お客さまデータやヒアリングから排出量の全体像と主な排出源を特定

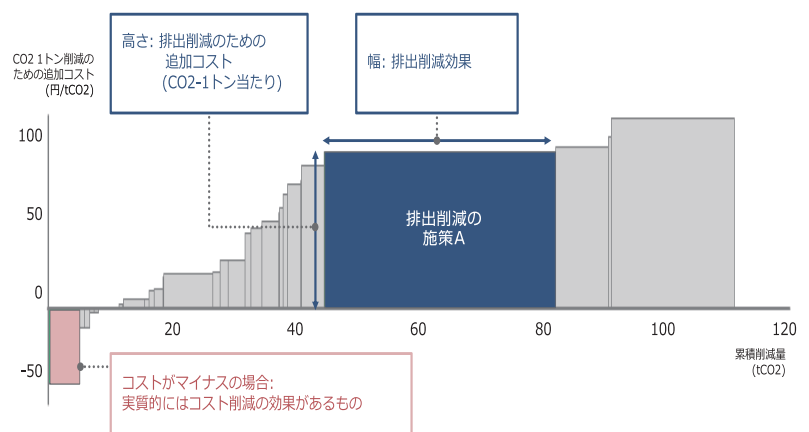
#### 施策の探索・評価

排出量削減に向けて取り得る施策を幅広く探索し、削減効果 / コストを評価

#### 分析結果のご報告

施策の一覧と削減効果 / コストの評価結果のご報告

### イメージ図



## 支援による効果

- お客さまのCO<sub>2</sub>排出状況を踏まえ、施策の把握・優先順位付けができる。
- 施策の費用対効果を視覚的に把握することができる。
- 削減量とコストの軸で可視化することで、実施する施策の意思決定ができる。

# なぜカーボンニュートラルに取り組まなければならないのか？

様々なステークホルダーからの排出削減の働きかけにより、企業への影響は拡大しており、カーボンニュートラルへの取組みは急務となっています。

	ステークホルダーからの働きかけ	企業への影響
		<small>青字は機会 赤字はリスク 黒字はどちらでもないもの</small>
政府	脱炭素社会の実現に向けた産業振興	新たな収益機会 (既存事業での優位性構築/新規事業立ち上げ)
	企業の気候変動対策関連の金融支援	コストを抑えた設備更新の機会(補助金など)
	排出量の割合と排出枠の売買(排出権取引)	将来的なコスト増加のリスク
	排出量の多い輸入品への炭素価格分課税(EU)	海外での価格競争力の低下リスク
地域	地域の脱炭素の推進	(各地域の政策方針による影響が出る可能性)
投資家	排出量が少ない企業への投資 排出量削減の戦略・進推の開示・報告要請	排出量が少ない場合:資金調達しやすくなる機会 排出量が多くなる場合:資金調達がより難しくなるリスク
顧客企業	サプライヤーへの排出量削減要請 排出削減目標・排出量の調達要件化	排出量が少ない場合:選ばれやすくなる機会 排出量が多くなる場合:調達先候補から外されるリスク
消費者	排出量が少なく、環境にやさしい製品を購入	排出量が少ない場合:購入されやすくなる機会 排出量が多くなる場合:購入されにくくなるリスク
労働者	気候変動への取組を行う企業を 就業先として選択	排出量が少ない場合:良い人材を獲得できる機会 排出量が多くなる場合:良い人材が集まりづらくなるリスク

## 支援後にいただいたお客様の声



取引先からCO<sub>2</sub>削減の要請がある中、どのように社内で行きを進めてゆけばいいか迷っていたが、**次なる取組みが明確になった。**



設備毎のCO<sub>2</sub>排出量と見込まれる削減量、かけるコストが見えるようにしたことで、**取組みを検討する優先順位をつけることができた。**



社内では現場寄りの観点で検討を進めていたが、第三者の幅広い視点で施策を検討することにより、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた**有効な施策を見定めることができた。**



CO<sub>2</sub>削減に向けて、どこまでコストをかけるべきか不明瞭であったが、**支援を通じてCO<sub>2</sub>削減投資の目線感を持てるようになった。**

## ワイエムコンサルティングのカーボンニュートラルに向けた取組

- 弊社はお客様のカーボンニュートラルへの取組を促進すべく、カーボンニュートラルに関する知見を収集・集約する専門チームを有しております。
- 弊社はカーボンニュートラルおよび関連性が高いSDGsに関する支援を515社※に行っています。

※2023年3月31日時点

詳しくはお近くのお取引銀行へ

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

**YMfg**



山口銀行



もみじ銀行



北九州銀行

ワイエムコンサルティング株式会社